



JUNIPER MIST WAN ASSURANCE データシート

製品概要

Juniper Mist クラウドサービスは、AI ネイティブエンタープライズの時代に、IT 運用をインテリジェントな Self-Driving Network™へと導きます。Juniper Mist WAN Assurance は、運用の簡素化、平均修復時間の短縮（MTTR）、より高度な可視化により、WAN 全体におけるエンドユーザーエクスペリエンスを提供します。

Juniper Mist™ WAN Assurance は、WAN エッジのエンタープライズアクセスレイヤーで、自動化された運用とサービスレベルを実現するクラウドサービスです。WAN Assurance は、Juniper AI ドリブン SD-WAN ソリューションのカギとなるコンポーネントであり、IT 運用チームが WAN 全体に優れたユーザーエクスペリエンスをもたらすことを可能にします。さらに、Juniper Mist Wired と Mist Wireless Assurance を併せて利用すると、そのサービスは、ネットワークスイッチ、IoT デバイス、アクセスポイント、サーバー、プリンター、その他の機器にわたるすべての運用を変革し、一元化することが可能です。Juniper Session Smart™ ルーターと Juniper SRX シリーズサービスゲートウェイは、リッチなストリーミングテレメトリを提供することで、アプリケーションの正常性、WAN リンクの正常性、およびゲートウェイの正常性メトリックと異常検知を可能にします。

Juniper Mist AI エンジンと仮想ネットワークアシスタントは、トラブルシューティングをさらに簡素化し、自動的に問題を修復する Self-Driving アクションでヘルプデスクを合理化します。仮想ネットワークアシスタント「Marvis」は、インサイトをアクションに変え、事後対応のトラブルシューティングから事前対応の修正へと、IT 運用を根本的に改革します。

Juniper Mist クラウドサービスは、オープン API を活用した 100% プログラム可能なサービスで、完全自動化と IT アプリケーションとの統合に対応します。

WAN サービスレベルのエクスペリエンス

セッションスマートルーターもしくは SRX シリーズサービスゲートウェイのサービスレベルエクスペリエンス（SLE）から、ユーザーの WAN エクスペリエンスに対する運用上の可視性が得られます。ゲートウェイと WAN 回線の状態から、エンドユーザーのアプリケーションエクスペリエンスに与える影響を測定します。WAN リンクの正常性を示す SLE は、ネットワーク混雑、ケーブル問題、ISP ネットワーク可用性で構成されており、これらの要因が、特定のネットワークユーザーやアプリケーションにどのような影響を及ぼしているのかを理解できるインサイトを提供します。Juniper Mist SLE ダッシュボードは、数回のクリックで、最適な状態にないアプリケーションエクスペリエンスの根本的な原因を特定し、「発見が極めて困難な問題」を事前に対応できるようにします。

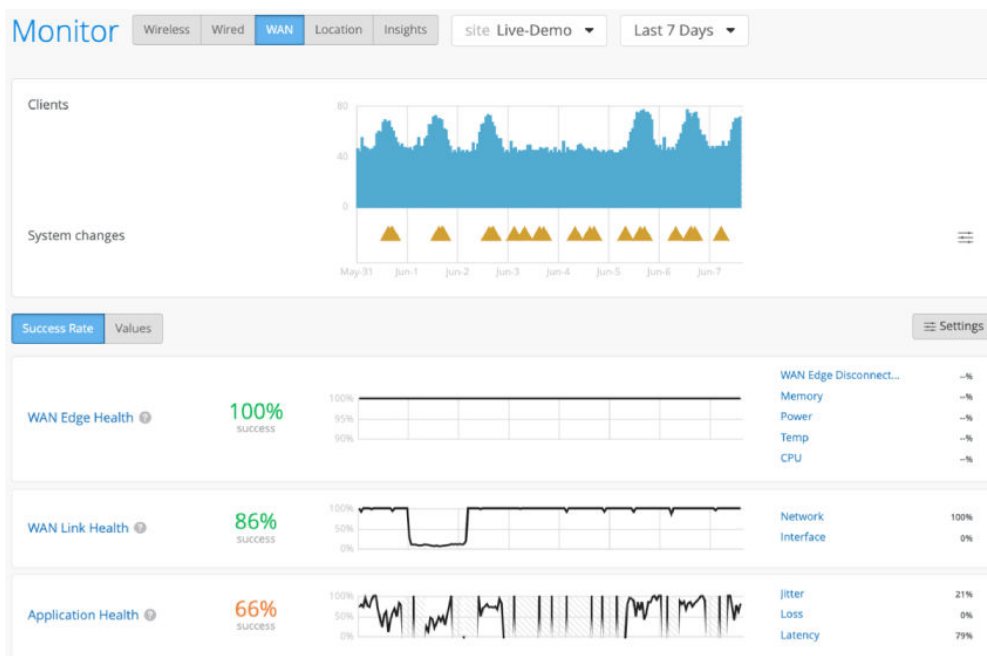


図 1 : WAN SLE

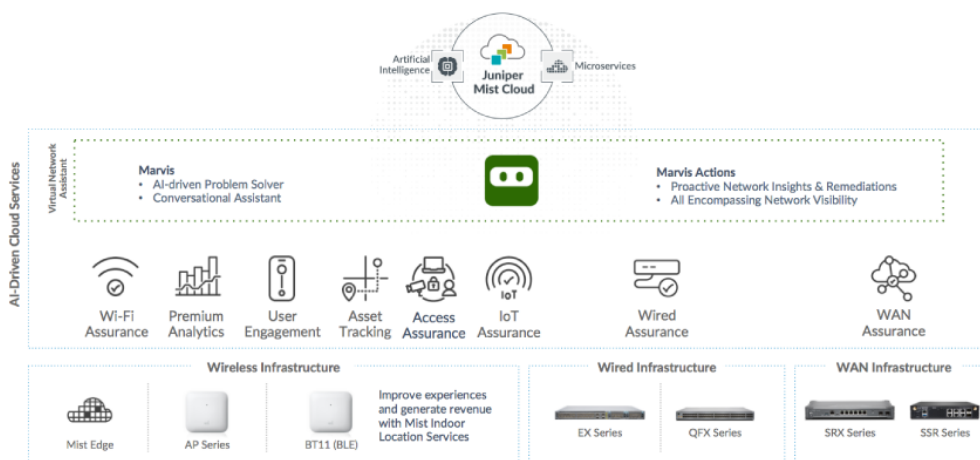


図 2 : AI ネイティブエンタープライズポートフォリオの概要

Mist AI によって導き出される WAN インサイト

セッションスマートルーターまたは SRX シリーズゲートウェイのパフォーマンス状況を、ポートレベルのメトリックとインサイトで正確に理解できます。WAN インサイトには、CPU、メモリー使用率、転送バイト、トラフィック使用率、および消費電力が含まれます。また、WAN Assurance は、設定変更やシステムアラートなどのゲートウェイのイベントを記録します。WAN および IPsec 使用率のインサイトからは、暗号化されたトンネルとローカルブレイクアウトを通過するトラフィック量を比較して確認することができます。また、ユーザーごと、アプリケーションごとのパフォーマンスとエクスペリエンスも可視化できます (図 3)。

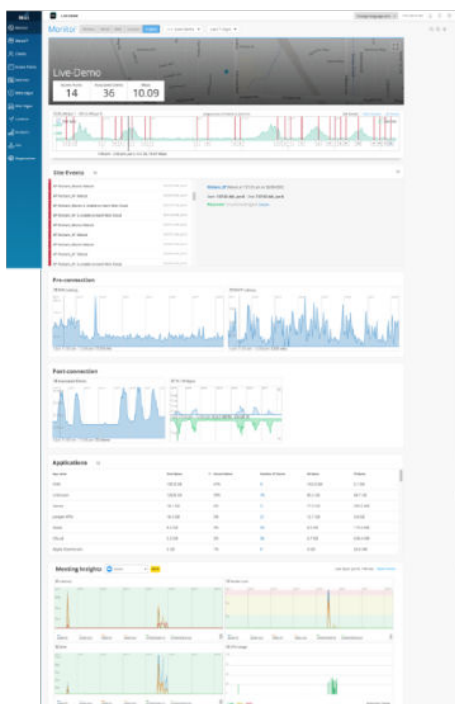


図 3：WAN に関するインサイト

混雑 SLE から、事業者はユーザーエクスペリエンスの低下につながるネットワークインターフェースの過剰な利用が発生していないかを把握できます。アプリルーティングに関するインサイトからは、帯域幅の不均衡な使用につながる原因を理解し、問題を修正するための最良の方法を見つけ出すことができます。オプションとしては、より多くの帯域幅の購入、容量計画の調整、特定のトラフィックタイプの調整などが考えられます (図 4)。

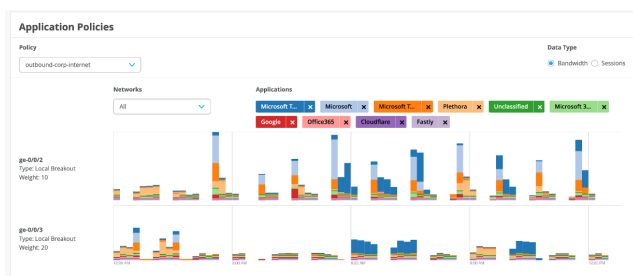


図 4：アプリルーティングに関するインサイト

ダイナミックパケットキャプチャ (dPCAP) からは、MTTR を短縮し、発見が極めて困難な問題を簡単に見つけるための方法に役立つインサイトが得られます。Mist AI は、ネットワーク上で問題を再現して適切なパケットをキャプチャするのではなく、問題が発生したときにその問題を認識し、分析できるように適切なパケットを自動的にキャプチャします。

WAN 向け AI ネイティブ仮想ネットワークアシスタントの「Marvis」

仮想ネットワークアシスタント「Marvis」は IT 運用を Self-Driving Network により近いものにし、ヘルプデスク担当者やネットワーク管理者がトラブルシューティングやパフォーマンス分析を簡略化できるようにします。

Marvis Actions は 1 つの場所にまとめられた情報センターであり、早急に注意する必要があるサイト全体のネットワーク問題を可視化します。Marvis Actions を使用することで、ユーザーエクスペリエンスに影響を与える問題を発見し、解決策となる推奨事項を取得することができます (図 5)。

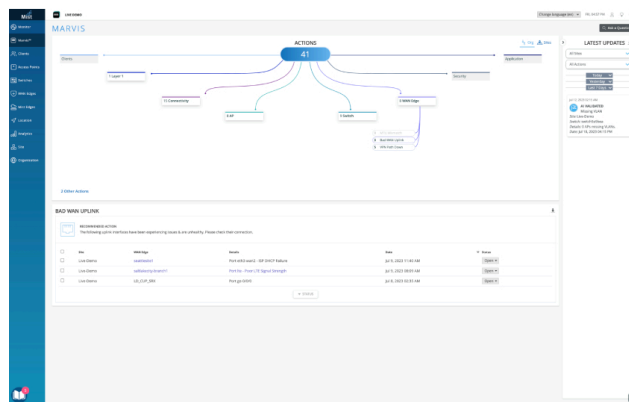


図 5：Marvis Actions

Marvis の対話型インターフェイスサービスにより、IT 運用チームはトラブルシューティングに関する質問への回答を素早く受け取ることができます。「ユーザーのビデオ通話エクスペリエンスが良くないのはなぜ？」など、自然な言葉で質問するだけで、適切な回答を得られます。Marvis が、これらのエクスペリエンスを向上させるための推奨事項を提供します。図 6 は、Marvis が、CEO のビデオ通話でのエクスペリエンスの低下を招く原因となる WAN 上の問題について、IT 部門に通知する流れを示しています。

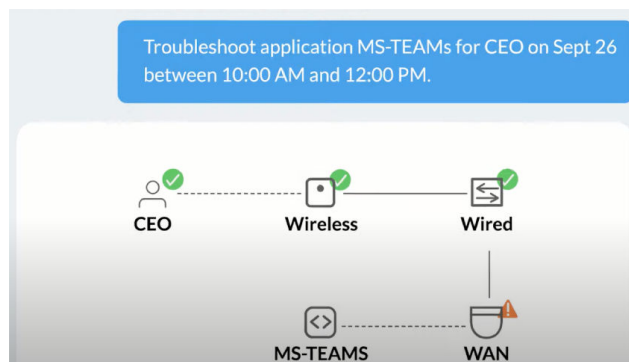


図 6：アプリケーションのトラブルシューティング

Marvis Minis は自動化された速度テストを実行します。このテストから、企業は購入した帯域幅をフルに活用しているかどうかを確認できます。ユーザーが存在しない場合でも、アップストリー

ムネットワークに問題があれば事業者にアラートが送られます。これにより事業者は、エンドユーザーが気づく前に、問題の解決に取り組むことができます。

SD-WAN、セッションスマートを搭載

WAN Assurance によって、Day2 運用で AIOps が得られるだけでなく、ライフサイクル管理と運用も可能になります。これには、サービスを中心とした先進的なネットワークソリューションを促進する、セッションスマートルーターによるジュニパーの AI ドリブン SD-WAN ソリューションの Day 0 および Day 1 オペレーションが含まれます。セッションスマートテクノロジーは、詳細な可視化とインサイト、きめ細かなセッション制御により、エクスペリエンススペースの SD-WAN を実現します。そのトンネルフリーのアプローチは、画期的な経済性とシンプルさを備えており、俊敏性、安全性、耐障害性の高い WAN 接続を可能にします。

WAN Assurance を活用することで、IT チームは、以下の運用にとともに、セッションスマートルーターの導入、設定を可能にし、SD-WAN を実現します。

- ゼロタッチプロビジョニング (ZTP) と Mist Claim Code による簡単なオンボーディングを実現
- 容易なテンプレートによる迅速なスケールアップ導入
- パスとピアリングの設定
- サービスとアプリケーションポリシー
- セキュリティポリシー
- ネットワークと NAT 設定

セッションスマートルーターは、専用アプライアンスで利用できます (表 1)。

表 1：SSR アプライアンスと推奨される場所

| アプライアンス | 推奨される拠点 | 最大スループット (暗号化なし) | 関連データシート |
|---------|-------------------------------|------------------------|----------------------------------|
| SSR120 | 小規模な支社/拠点 | 1.5Gbps | SSR100 ルーターライン |
| SSR130 | 中規模な支社/拠点 | 2Gbps (ポート上のラインレート) | |
| SSR1200 | 大規模な支社/拠点または小規模なデータセンター/キャンパス | 10Gbps | SSR1000 シリーズルーター |
| SSR1300 | 中規模なデータセンター/キャンパス | 20Gbps (NIC の最大スループット) | |
| SSR1400 | 大規模なデータセンター/キャンパス | 40Gbps | |
| SSR1500 | 超大規模のデータセンター/キャンパス | 50Gbps (NIC の最大スループット) | |

ハードウェアデータシートには、インターフェイスオプション、インターフェイス数、暗号化されたスループット、メモリおよびハードドライブ容量などの標準仕様が記載されています。

セッションスマートルーターは、認定ホワイトボックス ([セッションスマートルーティング](#) データシートを参照) や Juniper® NFX

シリーズネットワークサービスプラットフォームなど、他のフォームファクターでも利用できます。

WAN Assurance は、WAN ゲートウェイとして展開した場合、次の [SRX シリーズファイアウォール](#) もサポートします。

- vSRX
- SRX 300
- SRX 320
- SRX 340
- SRX 345
- SRX 380
- SRX 1500
- SRX 1600
- SRX 2300
- SRX 4100
- SRX 4200
- SRX 4300
- SRX 4600

AI によるリスクプロファイリング

WAN Assurance は、リスクプロファイリングソリューションのカギとなるコンポーネントであり、分散型ネットワークエッジにネットワークセキュリティをもたらします。リスクプロファイリングは、Mist クラウド内で認識された有線または無線の感染したクライアントを可視化し、Juniper ATP クラウドによって判定された脅威スコアを割り当てます。Juniper Mist クラウド内から、感染したデバイスを特定し探し当て、ワンタッチで排除や認証解除などの緩和措置を取ることができます。

ジュニパーネットワークスについて

ジュニパーネットワークスは、単なる接続性は優れた接続エクスペリエンスと同じではないと考えています。ジュニパーの AI ネイティブネットワークングプラットフォームは、AI を活用し、エッジからデータセンター、クラウドにいたるまで、最高かつ安全で持続可能なユーザーエクスペリエンスを実現することを目的に、ゼロから構築されています。詳細については www.juniper.net をご覧いただくか、[X](#) (旧 Twitter)、[LinkedIn](#)、[Facebook](#) のジュニパーをご覧ください。

Corporate and Sales Headquarters

Juniper Networks, Inc.
1133 Innovation Way
Sunnyvale, CA 94089 USA

電話番号：888.JUNIPER (888.586.4737)

または +1.408.745.2000

www.juniper.net

APAC and EMEA Headquarters

日本, 東京本社
ジュニパーネットワークス株式会社
〒163-1445 東京都新宿区西新宿 3-20-2
東京オペラシティタワー 45 階

電話番号：03-5333-7400

FAX：03-5333-7401

www.juniper.net/jp/ja/



Copyright 2024 Juniper Networks, Inc. All rights reserved. Juniper Networks、Juniper Networks ロゴ、Juniper、Junos は、米国およびその他の国における Juniper Networks, Inc. の登録商標です。その他すべての商標、サービスマーク、登録商標、登録サービスマークは、各所有者に所有権があります。ジュニパーネットワークスは、本資料の記載内容に誤りがあった場合、一切責任を負いません。ジュニパーネットワークスは、本発行物を予告なく変更、修正、転載、または改訂する権利を有します。